



じとぜんひろば

No.117 2025年(令和7年)6月1日

地御前地区自治会

地御前地区自治会Webはこちらから↓



地御前 街歩きものすゝめ

街歩きはタイムトラベル。
自分をからっぽにして、つながりを感じてみよう。

例年、郷土文化保存会や観光協会の方のガイドで地御前の史跡をグループで巡るイベントが開催されている。地御前は、厳島神社の外宮である地御前神社をはじめ、史跡や文化財に恵まれた歴史ある街だ。そういった史跡巡りとは別に、たまにはぶらりと一人で街歩きをしてみるのも、また別の新発見がある。心身のリフレッシュにはもってこいだ。

そんな街歩きのコツは、広い道と狭い道があれば狭い道へ。真っ直ぐな道と曲がった道があれば曲がった道へ。平らな道と上り下りのある道があれば上り下りのある道へ(吉見俊哉著「東京裏返し」より)ということらしい。

古い石垣、井戸の跡、大きな樹木、水路の形跡、軒先の低い昔の家屋など。入ったことのない路地を辿ると、昔の暮らしを垣間見る景色に出くわすことがある。地層のように積み重なった地域の変化や時代の変遷を見つける街歩きは、タイムトラベルだ。消えて行くものへのノスタルジー、残っているものへのありがたみを感じることができ



春は桜が咲き誇り、秋は銀杏が黄金に色づき、鎮守の社には野鳥が息づく。豊かな四季を感じさせる地御前神社。

史跡や歴史に直に触れる経験を通じて得る知識も、好奇心を満たす喜びをくれる街歩きの楽しみ方だ。地御前地区自治会で平成27年に発行した「じとぜんものがたり」を片手に、掲載された箇所におらりと行ってみるのもよいと思う。インターネットを検索すればダウンロードしてスマートフォンで見ることがもできる。

行くことでしか確かめることができない地御前神社の数々の大きな絵馬をじっくり見てみたり、石碑の名前を一人ひとり見たり。

タイパ・コスパを忘れて、日常の中の非日常を発掘してみて欲しい。

トピックス 防災キャンプ開催



令和7年3月29日(土) 防災キャンプ(青少年事業部主催、自主防災会共催) 春休みの恒例行事になっている防災キャンプが「ふれあい会館」(旧…青年会館)で行われました。

最初にビニール袋と鍋でご飯を炊く方法を学びました。次に、役に立つロープ結びを学びました。非常時のトイレや個室用テントを見学したり、非常持ち出し用バックパックについて学びました。

廿日市消防の消防士さんから消火器を使った消火訓練や、通報方法についても学びました。廿日市消防の



ポンプ車にも来てもらって見学しました。

講習終了後、炭火焼バーベキューをして、みんなで舌鼓を打ちました。ビニール袋で炊いたご飯も炊飯器と変わらない出来上がりでした。子どもたちはマッシュマロを炭火で焼いて食べました。

青少年事業部 川口栄作

光陰矢の如し 作:MARICO



ママサロンを ご存知ですか

スタートして、2年が経ちます。クチコミで、知り合いの子どもさんつながりから始まりました。ママフレンド(市の事業で2ヶ月の赤ちゃんのいる世帯を訪問している)がママサロンを伝えたり、地御前の子育て支援センター(あいプラザを中心にして、あちこちにある)で広報してもらったりして、そのうち、ママがママ友を誘ってくれて、賑やかになり始めました。

毎月の内容は、ちよつとしたおしゃべりでゆるつと始まり、ベビージャンプス、ベビーマッサージ、ペタペタアート、赤ちゃんサイン、骨盤ケアのお話、ヤクルトさんの



樽岡先生による赤ちゃんサイン

離乳食講座、保健師さんの身体計測などをして、最後にまたおしゃべり……という流れです。毎回の雑談で仲良くなつて、楽しいママサロンが続いてきたのだと思います。

去年もクリスマスにサンタさんがきました。大泣きの子どもさんにサンタさんが困ってしまう……というユーモラスな場面もありました。

スタッフも月1回、赤ちゃんを抱っこ出来るのが楽しみです。終了後の時間にきずな食堂がある日は、そこで100円で一緒に昼ごはんを食べるママたちもいます。お昼ごはんを作らなくていいから、それも少しホッとできてる時間かなと思います。

民生委員児童委員 佐々木真弓

編集後記

★香林氏、小島氏が賞状をお受け取りになる時に、夏の炎天下や真冬の雪の中、通学路で子どもたちを見守っているお二人の姿が浮かんできた。感謝の気持ちでいっぱいになった。宮沢賢治の「アメニモマケズ」の一節を思い出し、自分もそんな人物になりたいと改めて感じた。★子ども会、PTA、町内会、自治会等々、どこも存続の不安を抱える。連携と合理化で払拭できるか。★「自分とか、ないから。」(しんめいP著サンクチュアリ出版)引きこもりの著者が、痛快な意識で教養としての東洋哲学を紹介しながら、東洋哲学に救われた自身の体験談や新しい視点を書き綴った本。面白かった。ひきこもり本人やその家族にも是非読んでみてもらいたい。JK投稿をよろしく願います。RXE15645@nifty.ne.jp。

【発行】 地御前市民センター内 地御前地区自治会 広報事業部

地御前地区自治会 令和6年度決算報告	
令和5年繰越	1,357,937円
会費	497,000円
助成金	3,815,000円
他収入	1,635,750円
収入合計	7,305,687円
支出	6,181,811円
繰越	1,123,876円

令和7年度役員 地御前地区自治会人事

令和7年4月★は新改任

▼役員

吉本 恒雄（会長）
西田 弘展（副会長）
美川 忍（副会長）
向 佳（副会長）
★北山 一郎（監事）
若宮 敬（監事）
山広 道雄（総務部長）
渡辺 裕之（書記）
中田 秀郎（会計）
★林 忠正（参与）
★河相 勉（参与・地所長）
事業部
桐林 潤（広報事業部長）
勝谷 祐司（文化事業部長）
大庭 敏博（福祉事業部長）
田村 寿（保健体育事業部長）
向 佳（生活安全事業部長）
川口 栄作（青少年事業部長）
★瀬良 泰邦（環境衛生事業部長）
★中谷 和義（町内会事業部長）
顧問
北野 久美（廿日市市議会議員）
戸崎志乃婦（地御前小学校長）
木村 健二（野坂中学校長）

★三浦 智子（地御前保育園長）
★峠 誠二（地御前漁協組合長）
★谷口 美和（ひろし農協地御前支店長）
尾本 政浩（地御前郵便局長）

町内会長（理事）

★野路 治行（扇園）
★田中三由紀（県営住宅）
★市場 肇（サーパスシティ）
★荒木 友昭（金剛寺東）
★勝谷 幸司（金剛寺西）
★中村 英夫（砂島）
岡西 富男（要町）
勝谷 祐司（浜之町）
湊崎 義則（野坂）
★米村 直人（緑ヶ丘）
★水本 康裕（三景園）
★湧田 耕辰（海晴丘）
★平田 昌稔（自由ヶ丘）
竹内 直太（丸子町）
正木 伸吾（堀之町）
島原まゆみ（堀中町）
★中川 幸一（堀新町）
若宮 豊（北之町）
近藤 純（中之町）
★石井 巖（胡町）
★川本 彰治（後町）
★西本 正国（南町）
★西本 靖郎（桃山）
中川 裕志（鹿之子）
三永 雄治（田屋）
小川みどり（エスティム）
★鎮西 淳（ルミナス）
北山 一郎（港町）
谷口 洋一（新港）

令和7年度 自治会総会

令和7年4月13日（日）地御前市民センター講堂で地御前地区自治会総会が行われた。開会に先立って、ハッピーオレンジの清水紗希さん、小橋渚さん、澤部千理さんによる「地御前自治会の一年」と題した素敵なイラストを交えたプレゼンテーションが行われた。戸崎地御前小学校校長ほか顧問の皆さん、町内会長の皆さんの前で堂々と、分かりやすく、親しみやすい発表をした。自治会には8つの部があります。

★広報事業部

主に「じごぜんひろば」

を取材して発行しています。ホームページの更新にも力を入れています。

★文化事業部
どんぐりクラブを今年は6回ほど開く予定。20名のこどもたちに昔遊びを伝承しています。

★福祉事業部
敬老事業と毎月一回「わいわいサロン」と「健康体操教室」を開いて高齢者とのふれあいを大切にしています。

★保健体育事業部
今年度はスケジュール上「地区運動会」はお休みします。かわりに、誰でも参加できるウォーキング、モルック大会、ペタンク大会など計画しています。皆さんで参加ください。

★青少年事業部
「プレイパーク」
「ウォークラリー」はこどもたちが楽しみにしている活動です。豪華賞品も喜ばれています。

★環境公衆衛生事業部
花壇のお手入れを4か所で毎日行っています。（キラキラ公園・地御前神社トイレ前・交番横・市民センター）一斉清掃のとりまとめもしています。



★町内会事業部

29町内会のとりまとめ
いろんな問題に取り組んでまちづくりに大いに貢献しています。

★生活安全事業部

去年より「きずな食堂」をオープンしました。地域食堂としてやっと周知され、3月の利用は約170名でした。赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃん、ファミリーのふれあいの場となりつつあります。スタッフにも小学生・中学生のお手伝いが加わり、若い力に助けられています。

★本部と総務部

8つの部のとりまとめ役・パイプ役です。行政や関係団体とのつなぎ役として、横に縦に橋渡しをしています。

各部の皆さんはボランティアです。そして自治会活動は48年という長い歴史が流れています。「地御前のきずなは強い、ほどけない」の標語のように自治会活動を皆さんとともに、これからも盛り上げてゆきましよう！



小島さん



5年ぶり 地御前地区懇談会

令和7年1月7日（火）午後7時から、コロナ禍で中止が続いていた地御前地区新春懇談会が5年ぶりに開催された。約60名が参加して賑々しく親交を深める機会となった。

開会行事の中で、村上副市長が松本市長のメッセージ

前述の自治会活動の紹介の後に、お二人の方々へ自治会から感謝状が贈呈されました。

香林輝彦さん 長年の学校支援・地域見守り隊等のご功績に対して

小島一彦さん 長年の学

校支援・地域見守り隊・体育員等でのご尽力に対して



ジを代読した。廿日市市が子育て、子どもに優しいまちづくりを掲げる中、地御前地区では『どんぐりクラブ』『ハッピー・オレンジの活動』『きずな食堂』など心の通う温かい街づくりに取り組まれていることへの感謝が述べられた。また昨年、市長がハワイ郡との姉妹都市提携で訪問した際に贈ったメッセージ動画作成への協力にも謝意が伝えられた。

会の中盤に、前述のメッセージ動画やそのメイキング動画が上映された。このメッセージ動画は、地御前地区郷土文化保存会、地御前地区自治会、地御前小学

3月20日（祝） 大盛況！モルック大会



地御前地区自治会体育事業部主催によるモルック大会が開催されました。

天候に恵まれて、参加者、応援者、スタッフ含め、総勢120～130人が地御前小学校グラウンドに集いました。老若男女による16チームで競技をしました。

モルック世界大会（2025年は函館で開催されました）に広島から出場された「広島Pスモールック」の4人の方々がゲストにお招きし、間近ですごい技も見れたり、教えてもらったり、とても楽しい大会となりました。

保健体育事業部 田村 寿

地御前キッズ・クラブ

御前地区自治会では、9月を目標に「じごぜんキッズ・クラブ」を立ち上げる。子どもたちの遊び・学び・体験の場作り、居場所作り、異年齢・異世代交流などを通じて健全な育成・発達・自己実現機会の充実を目指す。既に活動実績のある「どんぐりクラブ」「ハッピーオレンジ」と連携して取り組む。